

様式第五（第五十五条関係）

許可

解体業

申請書

許可の更新

令和 〇年 〇 月 〇 日

神戸市長 あて

(郵便番号) 000-0000
住 所 〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0
氏 名 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 000-000-0000

使用済自動車の再資源化等に関する法律第 61 条第 1 項の規定により、必要な書類を添えて解体業の許可（許可の更新）を申請します。

事業所の名称及び所在地		
名 称	〇〇株式会社〇〇センター〇〇営業所	
所在地	(郵便番号) 000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0 電話番号 000-000-0000	
事業の用に供する施設の概要	解体作業場 72m ² （その他別紙のとおり）	
他に解体業又は破砕業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合にあっては、その許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）
	〇〇県	第 20XX3000001 号
他に廃棄物処理法に基づく産業廃棄物処理業の許可（他の都道府県のものを含む。）を有している場合にあっては、その許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）	都道府県・市名	許可番号（申請中の場合にあっては、申請年月日）
	〇〇県 〇〇市	第 XX100XXXXX 号（収運） 第 XX100XXXXX 号（収運）
解体業を行おうとする事業所以外の場所で使用済自動車又は解体自動車の積替え又は保管を行う場合には、当該場所の所在地、面積及び保管量の上限	〇〇株式会社〇〇センター廃車集積場 〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0 保管場所面積 00m ² ，保管量の上限 00 台	

役員の氏名及び住所（業務を執行する社員，取締役，執行役又はこれらに準ずる者をいい，相談役，顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず，法人に対し業務を執行する社員，取締役，執行役又はこれらに準ずる者と同様以上の支配力を有するものと認められる者を含む。法人である場合に記入すること。）

氏 名 (ふりがな)	役職名	住 所
〇〇 〇〇 (ふりがな)	代表取締役	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0
〇〇 〇〇 (ふりがな)	取締役	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0
〇〇 〇〇 (ふりがな)	取締役	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0

令第5条に規定する使用人の氏名及び住所（当該使用人がある場合に記入すること。）

氏 名 (ふりがな)	役職名	住 所
〇〇 〇〇 (ふりがな)	代表取締役	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0
〇〇 〇〇 (ふりがな)	取締役	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0
〇〇 〇〇 (ふりがな)	取締役	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0

法定代理人の氏名及び住所（未成年者である場合に記入すること。）

氏 名 (ふりがな)	住 所

発行済株式総数の100分の5以上の株式を有する株主又は出資の額の100分の5以上の額に相当する出資をしている者（法人である場合において，当該株主又は出資をしている者があるときに記入すること。）

氏名又は名称 (ふりがな)	住 所	保有する株式の数 又は出資の金額
〇〇 〇〇 (ふりがな)	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0	五千株
〇〇 〇〇 (ふりがな)	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0	三千株
株式会社〇〇〇〇 (ふりがな)	〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0	二千株

標準作業書の記載事項	
使用済自動車及び解体自動車の保管の方法	保管場所の範囲を明確にし、保管規準を遵守して保管する。積み重ねる場合は整然と行う。 事故車等油漏出のおそれがある場合は油を抜き取る。
廃油及び廃液の回収，事業所からの流出の防止及び保管の方法	解体作業場（もしくは燃料採取場所）で実施する。 漏出した廃油等は作業場に設置した溜め枡で回収する。 場内排水終末に油水分離装置を設置する。
使用済自動車又は解体自動車の解体の方法（指定回収物品及び鉛蓄電池等の回収の方法を含む。）	解体作業及び指定回収物品，事前回収物品の回収は作業手順書により実施する。
油水分離装置及びためます等の管理の方法（これらを設置する場合に限る。）	油水分離装置及び溜め枡は定期的に清掃を行い，適切に管理する。
使用済自動車又は解体自動車の解体に伴って生じる廃棄物（解体自動車及び指定回収物品を除く。）の処理の方法	産業廃棄物保管場所に一時保管し，許可業者に委託して処分する。
使用済自動車又は解体自動車から分離した部品，材料その他の有用なものの保管の方法	保管場所を設け，油等の漏出が無いように適切に保管する。
使用済自動車及び解体自動車の運搬の方法	自社の運搬車両で飛散流出の無いよう廃棄物処理基準を遵守して運搬する。 運搬を委託する場合は廃棄物処理法の許可業者に委託する。
解体業の用に供する施設の保守点検の方法	定期的に点検を行い，破損等がある場合は直ちに補修し，適切に管理する。
火災予防上の措置	燃料採取場所及び燃料保管場所は火気厳禁とする。 消火器を設置する。
△手数料欄	

- 備考
- △印の欄は，記入しないこと。
 - ※印の欄は，更新の場合に記入すること。
 - 事業所が複数ある場合には，「事業所の名称及び所在地」及び「事業の用に供する施設の概要」の欄を繰り返し設け，事業所ごとに記載すること。
 - 「事業の用に供する施設の概要」の欄については，当該施設の構造を明らかにする図面等を添付することでも可能とする。
 - 「役員の氏名及び住所」の欄その他の氏名又は名称及び住所の記載を要する各欄については，該当するすべての者を記載することとし，記載しきれないときは，この様式の例により作成した書面に記載して，その書面を添付すること。
 - 「標準作業書の記載事項」の欄については，当該標準作業書の全文の写しを添付することでも可能とする。
 - 用紙の大きさは，日本工業規格 A4 とすること。

事業計画予定地の土地及び建物所有者一覧

		字・地番	所有者	使用者	地目	地積 (m ²)
1	土地	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	宅地	〇〇m ²
	建物	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		
2	土地	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇	宅地	〇〇m ²
	建物	神戸市〇〇区〇〇町〇丁目 〇番〇	〇〇 〇〇	〇〇 〇〇		
3	土地					
	建物					
4	土地					
	建物					
5	土地					
	建物					
6	土地					
	建物					
7	土地					
	建物					
8	土地					
	建物					
9	土地					
	建物					
10	土地					
	建物					
合 計						〇〇m ²

事業計画書及び収支見積書（様式 1）

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 現在作成

1-1. 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

引取業者及びフロン類回収業者（〇〇商会等）から引取りを行った使用済自動車（乗用車及び大型車）を解体し、有用部品（エンジン、ドア、バンパー等）を回収し、中古部品業者及び金属商等に売却する。 解体作業に伴い発生した廃プラスチック類については、産業廃棄物処分業者に委託し、破砕処分する。 解体自動車については、〇〇（破砕業者）に引渡しを行う。 各作業時間等は別添フロー図のとおり。 <div>（フロー概略図を添付）</div>					
業務時間	8:00～17:00	従業員数	3 人	休業日	日曜日、祝祭日

1-2. 使用済自動車等の引取実績及び計画

年 度	<u>18</u> 年度実績 (3 年前)	<u>19</u> 年度実績 (2 年前)	<u>20</u> 年度実績 (1 年前)	許可取得後の 年間計画
引 取 台 数	480 台	510 台	500 台	700 台
主な引取先	〇×販売(株) 〇〇自工(株)	〇×販売(株) 〇〇自工(株)	〇×販売(株) 〇〇自工(株)	〇×販売(株) 〇〇自工(株)

1-3. 解体実績（乗用車）

年 度	<u>18</u> 年度実績 (3 年前)	<u>19</u> 年度実績 (2 年前)	<u>20</u> 年度実績 (1 年前)
年間処理実績	490 台	500 台	500 台
年間稼働日数	280 日	280 日	280 日
平均処理実績	1.8 台/日	1.8 台/日	1.8 台/日

1-4. 解体能力

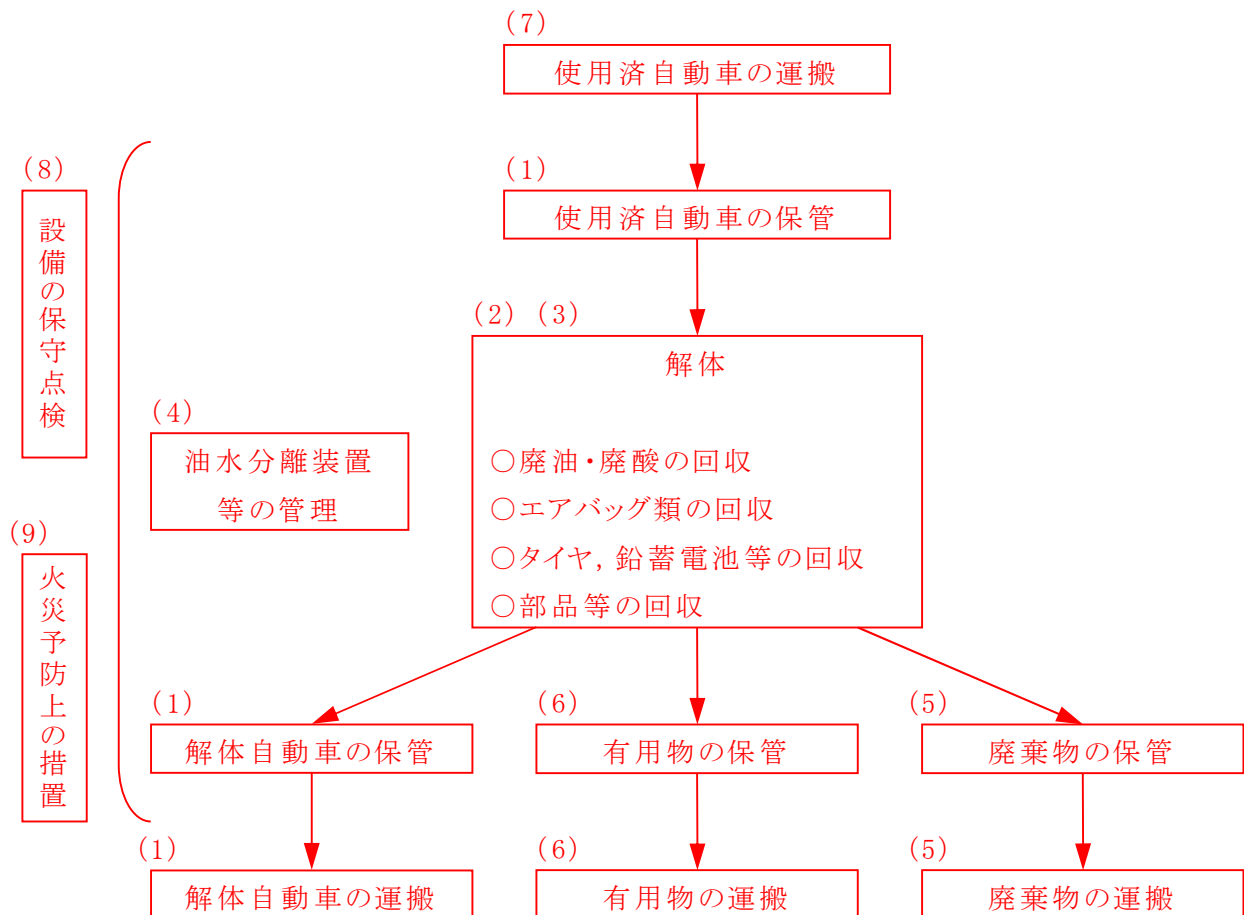
1 日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
3 台/日	280 日	840 台

1-5. 保管の状況

使 用 済 自 動 車		解 体 自 動 車	
保管量の上限	80 台 (台)	保管量の上限	250 台 (100 台)
現在保管量	50 台 (台)	現在保管量	50 台 (30 台)

※事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で（ ）に記入する

フローチャート（処理の流れ）



1-6. 年間収支見積書

項目		前年度（ 20 年）		今年度の見込み	
		（決算月 [3 月]）		（年間）	
		年 度 （千円）	（1 台当） （円）	年度 （千円）	（1 台当） （円）
売上高（全体）	ア（総売上収入）	16,000	32,000	32,450	41,603
売上原価	イ（使用済自動車等購入費）	-2,500	-5,000	-1,400	-2,000
その他の経費	ウ	16,575	33,150	19,685	25,237
うち廃棄物処理委託費	エ	750	1,500	1,170	1,500
営業収益	オ＝ア－イ－ウ	1,925	3,850	14,165	18,365
営業外損益	カ（主に支払利息）	-600	-1,200	-679	-970
経常利益	キ＝オ＋カ	1,325	2,650	13,486	17,395
使用済自動車等年間引取台数		500 台		700 台	
使用済自動車等年間処理台数		500 台		780 台	

（参考）

	前年度末	現 在
負債総額（年度末残高）（千円）	20,000	22,500

- （注） 1 「1 台当」額は，売上原価は引取台数で，その他は処理台数で割ること。
- 2 使用済自動車等購入費は購入費をプラス，引取・処分料金を徴収した分はマイナスで計上すること。
- 3 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。

誓 約 書

〇年 〇 月 〇 日

神戸市長 宛

(申請者)

(郵便番号) 000-0000

住所 〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-0

〇〇株式会社

氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

(法人にあっては、主たる事業所の所在地、名称及び代表者の氏名)

・私及び私の使用人（政令で定める者に限る。）

・当社，当社の役員及び当社の使用人（同上）

該当する方を囲む

は，「使用済自動車の再資源化等に関する法律」

・第六十二条第一項第二号イからヌまでのいずれにも該当していません。（解体業）

・第六十九条第一項第二号に該当していません。（破砕業）

該当する方を囲む

なお，法令等に違反した場合は，いかなる処分を受けても異議はありません。